

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 512

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
あさやけ喜平橋食堂	小平市上水南町 2-23-21-5	TEL 042-312-0793
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
共同ホーム一步	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



書き初め

あさやけ第二作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

居場所を見つけて、作業に向かう姿が…

富樫 真由さん

(あさやけ作業所)



あさやけ作業所のしろくま ぼしてている印象がありました。班は、昨年度の十月ごろから作業班の断捨離をすすめ、部屋の一角に休憩スペースを確保することができました。今までのしろくま班は休みたくても場所がなく、仕事をする席で休憩せざるを得ない、なかまにとって劣悪な労働環境にあったのかもしれませんが、現在は、新設された休憩スペースによって、うまく居場所を作ることのできたなかまが増えつつあるように感じています。今回紹介する富樫真由さんもそのなかまの一人です。

以前の真由さんは、夏の暑い日でも冬の寒い日でも作業室を出て廊下で休んでいたりと、時には玄関の外へ出て行ってしまったりと、作業の席は用意されていて作業室に長い時間はおらず、自由気ままに過

ごしている印象がありました。しかし、休憩スペースが確保されると、その場所で休む様子が多くみられるようになり、作業室で過ごす時間が大幅に増えました。そこで、もしかすると真由さんは、「リラックスできる場所」を探していたのかもしれないと気が付くことができました。そして、うまく休憩をすることができたことが関係しているのか、作業に向かう頻度やこちらの声掛けに応じてもらえることが増えてきているのが、職員にとっても嬉しい変化です。仕事と休憩のバランスは大切なことですね。

真由さん、ブランコに乗るのがすっごく上手です。写真のようにとってもいい表情で楽しんでます。

新年おめでとうございます。新しい年が皆さまにとりまして幸多き年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。コロナ禍での新年も三度目になりましたが、みなさまもご承知のように、未だ感染者、死亡者の増加が続いている状況です。

そんな中ときわ会もご多分にもれず、利用者さん、職員、職員の家族等々、かなりの方が感染者、濃厚接触者になり、作業所閉鎖を余儀なくされ、ホームでは家に帰れない人のために、全職員で勤務をカバーする状態で切り抜けている状況にあります。一日も早くコロナ禍から脱出できることを願うと共に、現状の中でどうすればときわ会のみならず、支援して下さっている方々、地域の方々すべての方々が少しでも安心して行動できる状況を作り出せるかを模索していく年になると思っております。

二〇二二年を振り返ってみますと、アートフェスティバルは七月に開催することが出来ました。地域の皆様と親しく交流できる「わいわいバザール」は三年連続で中止となりました。廃品回収は皆様の協力で何とか毎月行うことが出来ました。事前に外に出しておいていただく等、ご協力下さいました方々に感謝申し上げます。

「働きたい」「外に出たい」「友だちとおしゃべりしたい」の声に押されて始まり、今年で四十四年になるときわ会。この間施設が増えるとともに職員が増え、年数を重ねることで職員の

新年を迎えて

社会福祉法人ときわ会
理事長 遠山 陽子

入れ替わりもあり、加えて日々の忙しさの中で意思の疎通も滞る状況が少なからず見えて来たのではと…。

そこで、この先、より質の高い支援者を目指して、昨年の第二十四回実践交流会では、ときわ会の原点である「ゆたかな労働と生活の場をめざして」をテーマにし、四本のレポートとこのテーマの決定に加わり、初期の実践を進めてきた藤井克徳氏(現日本障害者協議会代表)にお話しをしていただきました。そして一人ひとりがしっかりと自分を見つめ、創意工夫をし、実践面・運営面・運動面にわたって、仲間と共有し、より密の濃い実践を繰り返し広げていけるようになることを確かめ合う交流会になったと思います。

この交流会を終えての感想等の一部は、あさやけだより五一号に掲載されていますので、目を通して頂き、思いを感じ取って頂けたら幸いです。

新年を迎え、改めて誰もが命の不安を感じない、差別されない、慮げられない社会を築いて行けるよう微力ではありますが職員、関係者一同力を集め発揮していく所存です。

今日まで、多大なお力添えを頂いています地域の皆様、行政の方々、ご家族の皆さま、これからも、どうぞ社会福祉法人ときわ会をよろしくお願いいたします。

今年は一歩ずつみんなが話しやすい自治会になるようにがんばりたいです。

あさやけ風の作業所のみんなの会は、昨年の九月で一度解散となりました。

そこで、去年の九月に新しく会を作って、みんなの要望、意見をまとめて作業所に言っていくこと、「みんなの自治会」が発足しました。現在、みんなの自治会担当職員と代表の二人で話し合いを持ち、会に入ってくれそうな人を選んで、その人たちを説得している最中です。

僕は、みんなのお給料にも関わることなので、作業所の授産会計を知る権利は、みんなにも大いに

あさやけ風の作業所
みんなの自治会



・一日でも多く出勤する。健康第一。

梅 謙次郎
大木 文雄

・健康第一、ダイエットする！

青柳 直哉

「みなさんの抱負」
・いっぱい絵を描きたい。本を読みたい。

昨年、あさやけかるたを作ったり、ちひろ美術館にも行くことができました。トーンチャイムのお披露目も大成功でみなさんに喜んでもらえて嬉しかったです。今年もみんなが笑い声たくさん聞こえて、お多福の会にしていきたいです！

あさやけ第二作業所
お多福の会

あると思いますし、知っておくべきだと考えています。

春と冬のミニショップにも何らかの形で自治会も関わればらと思っています。そういった話し合いもしていきたいです。

これからみんなの自治会をみんなにわかりやすく、みんなが要望や意見を言いやすい自治会にしたいです。そのためにも僕ももう一頑張りしたいと思います。

柳原 昭三



代表の柳原さんと亀井さん



・二病息災 久野 千秋

・剣の上に座る：剣の上のように、あえて常に不安定な状態に身を置き、いつも充実した日々を送る。 西村 俊樹

・一曲でもいいから新しい曲に挑戦して自分のレパートリーを増やしたい。グループホームで新しいキーボードが買えるように貯金を頑張りたい。 野田 真由美

・コロナに気を付けて健康で仕事を頑張ります。 宮崎 研

・一日一善 山之内 剛



・今年もレクやボータスのこと、旅行のことなど自治会での活動を頑張ります。 今年もやります。

森川 有彩

・仕事や身体に気を付けます。色々なごみ袋作業、ラベル貼りを頑張ります。 今年もやります。

鈴木 慎一

自治会役員一同

・仕事に集中して、なにごとにもがんばって仕事をがんばりたいです。 結束と、とじの仕事ががんばりたいです。 これからもみんなが協力し合って仲良くがんばりたいです。 けんかをしないようにがんばりたいです。

鈴木 慎一

・仕事を頑張ること。 元気であること。 毎日作業所に来ること。 検品を頑張ります。

原 太

・自転車でケガをしないこと、慎重にこぐこと、事故のないようにこぐこと。

荒井 豊

・作業所でお昼にコーヒーを作ります。 ホームの職員は神様です。 首藤さんおつかないです。

宇佐美 誠

あさやけ鷹の台作業所
はたらく女の会

やめるなんて思ってもいなかった 五十部 桃子

「いい職場だった、良い人たちばかりだった、辞めるなんて直前まで思ってもいなかった、たくさん迷惑かけてごめんなさい、本当にここからありがとう」私の心情を代弁してくれているような言葉、精神科医の森川すいめいさんのツイッターです。

私は、昨年の春頃から高齢の母と母が暮らす実家にサポートが必要な事態が表れ、日毎に進行していき、それに対応するため10月一杯で36年7ヶ月在職したときわ会を退職することになりました。

初めての介護の戸惑い、実家に泊まり込む生活で不在にする自宅、疎かになっていく仕事、やがて手離すことになる仕事と収入・・・これらの不安に押しつぶされそうになる中で森川さんの言葉は身に沁みました。

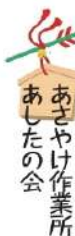
今回「退職にあたって伝えておきたいことなどを」とこの紙幅を与えられましたが、ときわ会での長い年月を振り返ると、その時々に関わった職員とその時にでき得る支援をやってきただけであらためて後進に伝えておきたいというものはありません。ただ、実家で介護や家事をする生活になって得られた実感ならいくつもあります。

これまで仕事をする中で私は、障害のある人に日中通う場所が用意できればそれでひとつの問題解決になったと思っていました。時には更に新しく通う場所や暮らす場をお勧めしてきたこともあります。それは大きな変化であったと思いますが、その陰にはご家族の多大な支えが必要でした。ご本人の健康状態を気かけ食事を始めとする身の回りのお世話をし、ご本人の気分や意思を読み取ってケアをし、毎日決まった時間に送り出す。その日々の営みにどれ程ご家族の手間や時間や心遣いが必要だったことか。それを今被介護者の家族となったことで実感するのです。

え、今更？と自分でも思いますが、それでも気づく機会があったことは人として良かったと思っています。

「その時々に関わってきた職員とその時にでき得ることをやってきた」と書きましたが、私は、支援者は一素材であるべきだと思っています。支援が必要な人との間で対価による責任が発生する、きちんと関わりきちんと離れていく。提供するものは支援者の個人芸ではなく継続した支援の中身なのだと。

この度、私は一素材に戻り次の出番に備えます。皆様、ここまで本当にありがとうございました。



- ・あしたの会では誕生会の話し合いや、誕生日カードの文字を書いたり、絵を描いたりしています。プレゼントを買いに行つて、選んだりするのが難しいです。世話人になって、やる事があって充実しています。 長島
- ・昼休みに、所長とキャッチボールをしたい。 木村
- ・誕生日カードを描いたり、プレゼントを渡したり、楽しい。電車とバスに乗りたくない。 武井
- ・タイトニツクの仕事をやっていきます。お金がほしいから仕事をがんばる。 鈴木ゆきな
- ・山形の温泉に行きたい。 守山
- ・シヨッピングモールに行きたい。おもしろい本を買いたい。 中村
- ・ばらしの仕事をやりたい。 泉
- ・遊びに行きたい。日 泉
- ・帰り温泉に行きたい。 木下
- ・温泉につかりたい。 荒井



2023年 卯 みんなの抱負



この冬休みはそんなに寒くなく、晴れが続き、まさしく「サンゲリン」のようなお天気のなか、気分も晴れ晴れと無事に新年を迎えることが出来ました。

一月五日の新年会では、みんなでお寿司と手作りのお汁粉をいただいて、合わせて今年に新成人の仲間入りになるメンバーの希望で「アイドル」となって歌って踊つてとお祝いすることも出来ました。そして、今年の抱負をメンバーさんにお聞きしました。

「いい仕事をする」「仕事を頑張る」「健康第一」「元気な気持ちで行く」「新しいことにもチャレンジ」と皆さん、健康面にも気をつけながらも、まだまだ仕事への意欲が感じられます！

サンゲリンでは、米ぬか石鹸と布巾製作だけでなく、新たな作業への取り組みや、アートやイベントといった作業以外の時間も増やしたりして、素敵な仲間たちで元気いっぱい頑張っています！



きょうされん 第46次国会請願署名

障害者福祉についての 法制度拡充を求める請願

ときわ会全事業所で取り組んでいます。国会請願署名・募金へのご協力を！

1 優生保護法の被害者 に対して、国は謝罪と 補償を



優生保護法による強制不妊手術や中絶手術の被害者は、約8万4,000人と言われています。法律によって心と身体に癒えることのない傷を負い、権利を侵害された被害者に対して、国による謝罪と補償を含む優生保護法問題の全面解決を早期にはかり、根強く残る優生思想をなくすために尽力することを求めます。

2 コロナ危機にあっても、 障害のある人の命と健康、 そして障害児者事業所を守って

コロナウイルスに感染しても入院できずに家庭や事業所で療養せざるを得ず、感染がさらに広がる事態が相次ぎました。また、事業所の報酬は日額払いのため、利用自粛や休所により減収が続き、感染対策のための費用の増大も事業所運営を圧迫しています。安定した運営ができるよう、運営にかかわる報酬（人件費・固定費）は月額払いにすることを求めます。



3 物価高から、障害の ある人の生活と 障害児者事業所を守って

物価高にも関わらず、障害基礎年金は引き下げられました。障害福祉を利用する際に、未だに利用料を負担している障害のある人や家族がいます。また、ガソリンや食材の高騰により、障害児者事業所の運営は厳しさを増しています。物価高に対する支援を、国の責任で行なうことを求めます。



4 障害のある人が 65歳をむかえても 障害福祉を使えるように

障害のある人が65歳になると、本人の意思に関わらず介護保険に移行させられ、費用負担が発生し、支援の時間や回数が減らされることがあります。必要な支援を自ら選んで、費用負担なく利用できることを求めます。



■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出しください。ご協力をよろしくお願ひします。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

12月の廃品回収の回収量は7,928kgでした。内訳は新聞5,220kg、雑誌・ダンボール2,708kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて107,362円でした

次回は2月18日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。